



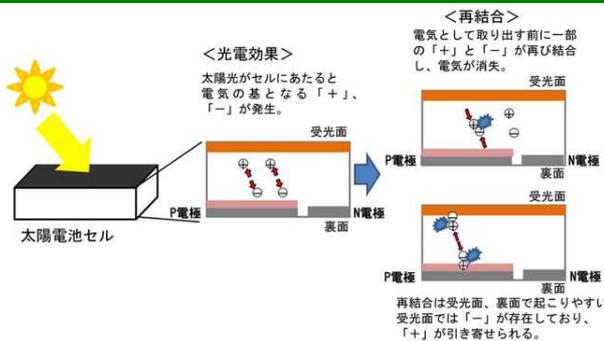
木割れを防止し荷重に耐える外張り断熱工法用ビス



東日本パワーファスニングは、外張り断熱工法用のビス「パネリード II+」を販売している。外張り断熱工法では、柱の外側に断熱材がくるので、外壁下地の胴縁までの距離が長くなり、ビスにかかる荷重が大きくなる。「パネリード II+」は、この荷重に耐えられる性能を持つビスとして開発した。十分な長さ、太さ、強度を備え、特殊な先端加工により木割れが生じることもない。また、外壁や断熱材のサイズに合わせて個別にビス留めピッチを算定することができ、外壁の垂れ下がり防止する最適のピッチを選ぶことができる。表面にはクロメートという凹凸が少なく耐食性を高める表面処理を採用している。さらに、その上から TORK というコーティングを施すことで、打ち込み時にネジが受ける摩擦を30%以上低減させている。販売開始以来20万棟以上という納入実績が、「パネリード II+」の性能と施工性への評価を示しているといえるだろう。現在は、合板サンドイッチパネル留めや、仕口木材同士を締結するためにも使用しており、外張り断熱工法以外での活用も広がっている。

情報提供: ケンフラツ

シャープが太陽電池の新品、変換効率19.1%を実現



シャープは6月30日、モジュール変換効率19.1%を達成した住宅用単結晶太陽電池モジュール「ブラックソーラー」4機種を発売する。太陽電池は、光を受けると原子が「+」と「-」に分かれることにより発電。この+と-の一部が再結合してしまうため、発電ロスが発生する。新製品では、セルの受光面・裏面の双方で再結合を抑制する技術を採用。従来機よりもモジュール変換効率が0.9%向上し、業界トップクラスを実現した。また、4種類の異なるサイズのモジュールを組み合わせることで効率よく屋根にレイアウトする「ルーフフィット設計」、様々な大きさの屋根に対応する「ワイドレンジパワーコンディショナ」などを組み合わせることで、設置容量の最大化が図れるとする。

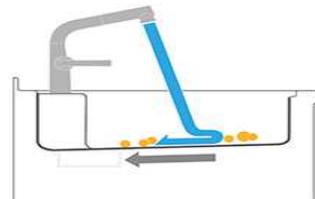
情報提供: 新建ハウジング

クナッパ、清掃性を追求した「流レールシンク」を標準整備

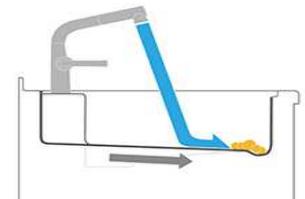
クナッパはこのほど主婦モニターによる調査をもとに、野菜や食器を洗う「シンク」内に残る「ゴミや汚れ」に着目し、清掃性を追求した新機能「流レールシンク」を開発。2015年5月7日(木)からクインレディに標準装備し受注を開始致します。現行のシンクでは「水を使うたびにゴミや汚れが広がる」「シンクの隅にゴミが残る」などの課題があり、「ゴミをシャワーで流している」主婦モニターが7割を超えました。その分手間をかけ水を消費していることとなります。今回開発した「流レールシンク」は、シンク内のゴミの広がりを最小限に抑え、キッチン作業で使う水の力を最大限活用し、掃除の手間を軽減する画期的なシンクです。特長は①ゴミの発生しやすい場所に排水口を寄せた「調理面側排水口」②汚れやゴミを集めやすくする業界初の「手前勾配構造」③ゴミをスムーズに流すシンク底面の水路と三角排水口④手間を軽減し、節水、時短につながる「流レールシンク」です。



調理面側排水口



従来のシンク(奥に傾いている)



流レールシンク(手前に傾いている)

情報提供: クナッパ

平成27年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」提案型の公募の開始について

「長期優良住宅化リフォーム推進事業」は、インスペクション、性能の向上のためのリフォーム等による住宅ストックの長寿命化を図る優良な取り組みに対し、国が費用の一部を補助する制度です。平成27年度事業で実施を予定している①評価基準型、②提案型のうち、②提案型について下記のとおり募集を開始することとしましたのでお知らせします。なお、①評価基準型については5月中を目処に公募を行う予定です。

- 募集する事業の概要: ・必ずしも評価基準では評価できない先進性・汎用性・独自性等の高い長期優良住宅化リフォームの実現手法。・補助率 1/3、上限 100 万円/戸。すべての評価項目においてS基準相当と認められる場合は、上限 200 万円/戸とすることを可能とする。
- 応募期間:平成27年4月24日(金)~平成27年5月29日(金)18時(必着)

情報提供: 国土交通省